

地域包括支援センター連携から「終活セミナー」実施へ！

- 企業名 住友生命保険相互会社
- 取組の名称 地域包括支援センター連携から「終活セミナー」実施へ！
- 該当する共同宣言 8 様々なツールを活用し、役立つ情報を届けます
9 認知機能の低下に備える社会づくりに貢献します

認知機能が低下しても、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境作りへの一環として、「地域包括支援センター」との関係作りを進めています。住友生命京都支社において、近隣センターに当社の取組をお伝えする中で、認知機能低下に備えて終活の必要性に強く共感されたセンターから、「ぜひ、地域の高齢者の支援にあたる福祉協力員※を対象にセミナーを実施してほしい」とのご依頼をいただきました。

セミナーでは住友生命が「思いやりノート」という名称のエンディングノートを作成、地域の皆さまにお届けしている背景をご説明し、続いてエンディングノートの記載項目について具体的事例を上げながらご説明しました。

セミナー終了後にセンター長から、「高齢のお客さまの立場に立って活動されていることが伝わってきました。私たちもこうした啓発が広がっていくよう努力していきたい。これから地域のために連携していきましょう。」とコメントをいただきました。また、「終活」の他にも「任意後見制度」についてのセミナーも検討したいとのこと。今後も各地域の地域包括支援センターさまとの関係作りを通じて、地域の皆さまのお役に立てるよう取組んでいきたいと考えています。



※福祉協力員は、校（地）区社協役員の方や民生委員・児童委員、老人クラブ等と協力して、一人暮らし高齢者や高齢者だけの世帯、障がいのある人のいる世帯、父親や母親が単身で子どもを育てている世帯などで、支援が必要と思われる世帯に対し、ときどき訪問行って生活上で困った問題などをいち早く発見していく取組みをされています。